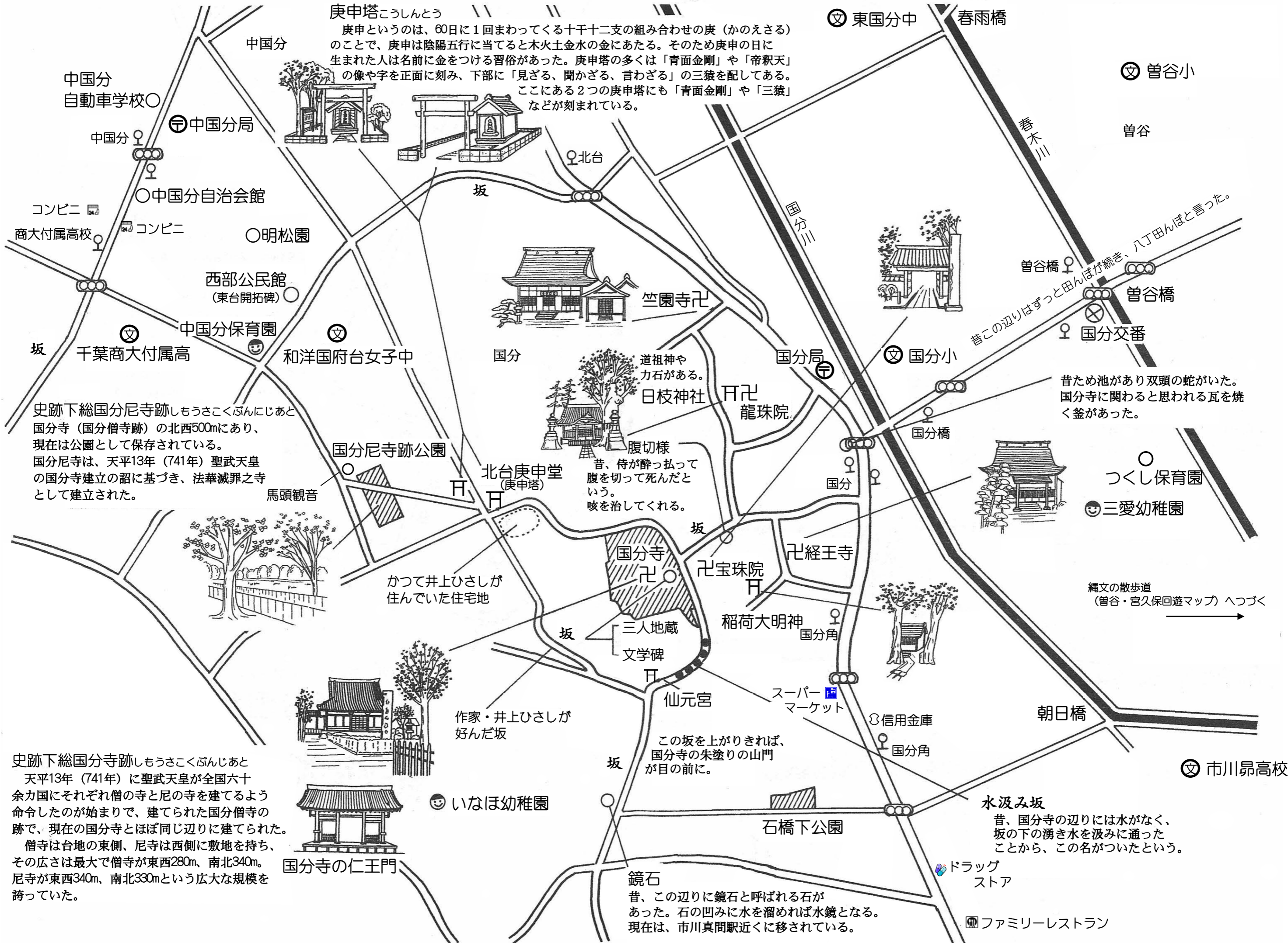


庚申塔こうしんとう

庚申というのは、60日に1回まわってくる十干十二支の組み合わせの庚（かのえさる）のことで、庚申は陰陽五行に当てると木火土金水の金にあたる。そのため庚申の日に生まれた人は名前に金をつける習俗があった。庚申塔の多くは「青面金剛」や「帝釈天」の像や字を正面に刻み、下部に「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿を配してある。ここにある2つの庚申塔にも「青面金剛」や「三猿」などが刻まれている。



史跡下総国分尼寺跡しもうさこくぶんじあと
国分寺（国分僧寺跡）の北西500mにあり、現在は公園として保存されている。国分尼寺は、天平13年（741年）聖武天皇の国分寺建立の詔に基づき、法華滅罪之寺として建立された。



史跡下総国分寺跡しもうさこくぶんじあと
天平13年（741年）に聖武天皇が全国六十余カ国にそれぞれ僧の寺と尼の寺を建てるよう命令したのが始まりで、建てられた国分僧寺の跡で、現在の国分寺とほぼ同じ辺りに建てられた。僧寺は台地の東側、尼寺は西側に敷地を持ち、その広さは最大で僧寺が東西280m、南北340m。尼寺が東西340m、南北330mという広大な規模を誇っていた。



国分寺の仁王門

かつて井上ひさしが住んでいた住宅地

作家・井上ひさしが好んだ坂

腹切様
昔、侍が酔っ払って腹を切って死んだという。咳を治してくれる。



三人地藏
文学碑



この坂を上りきれば、国分寺の朱塗りの山門が目の前に。

鏡石
昔、この辺りに鏡石と呼ばれる石があった。石の凹みに水を溜めれば水鏡となる。現在は、市川真間駅近くに移されている。

昔ため池があり双頭の蛇がいた。国分寺に関わると思われる瓦を焼く釜があった。



水汲み坂
昔、国分寺の辺りには水がなく、坂の下の湧き水を汲みに通ったことから、この名がついたという。

縄文の散歩道
(曾谷・宮久保回遊マップ) へつづく

市川昂高校

ファミリーレストラン

ドラッグストア

信用金庫

スーパーマーケット

仙元宮

稲荷大明神

宝珠院

経王寺

龍珠院

竺園寺



曾谷小

曾谷

曾谷橋

国分交番

国分小

国分橋

国分

国分局

北台

坂

中国分

中国分自動車学校

中国分局

中国分自治会館

明松園

西部公民館
(東台開拓碑)

中国分保育園

千葉商大付属高

和洋国府台女子中

コンビニ

コンビニ

商大付属高校

東国分中

春雨橋

巻木川

昔この辺りはずっと田んぼが続き、八丁田んぼと言った。

つくし保育園

三愛幼稚園

朝日橋